

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年3月31日

南信州地域振興局

提出区分	実績	課題区分		C			
整理番号	9	課題区分		C			
実施機関	南信州地域振興局			担当課			
事業名	リニア新時代に向けた移住セミナーの開催			所属	企画振興課		
				電話	0265-53-0401		
				E-mail	minamichi-kikaku@pref.nagano.lg		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	リニア中央新幹線・三遠南信自動車道整備を見据え、市町村、広域連合、県が一体となり南信州への移住者増を図る。					
	現状と課題	南信州地域における年間移住者数は、H25～H27の3か年では概ね横ばいで推移している。一方、県全体に占める当地域の割合は同3か年で低下している。 また、県内4ブロック別の移住希望地アンケートによれば、南信ブロックは3番目となっており、特に都市部での認知度が低く、移住先の選択肢に含まれていない状況がうかがえる。 さらに、Uターン就職率は3割程度と県平均の4割よりも低い状況となっており、より一層、地元企業の情報や地域で働く魅力の情報発信が求められている。					
	内容 (変更後の内容)	・3大都市圏(東京・名古屋・大阪)で南信州広域連合と共催で開催する移住セミナーへの職員参加旅費。 ・「南信州」の知名度を向上させるため、統一したチーム名称を定め、それを活用したセミナー等を開催することで、地域全体で移住・定住に取り組む姿勢をPRする。 ・チーム名を『「南信州暮らし」応援隊』と定め、南信州の知名度向上を図る。					
	事業期間	平成29年4月		～	平成30年3月		
	成果目標	南信州移住セミナー参加者の倍増(平成28年度比)					
事業費等	事業費	344,432 円				(単位:円)	
	節区分	主な内容	当初計画額 a	変更(最終)計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	9	職員旅費	100,000	57,670	57,670	0	
	11	PR物品購入		194,400	194,400	0	パンフレット更新
	14	使用料		92,362	92,362	0	
計		100,000	344,432	344,432	0		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果			評価	
	■移住セミナー・移住相談デスクの開催 市町村からの公募により、『「南信州暮らし」応援隊』を結成。移住セミナー等で統一的に使用し、3大都市圏での移住セミナー及び移住相談デスクを実施した。 ◆東京会場(東京交通会館) ①平成29年7月28日(金) (7市町村参加) ②平成29年9月9日(土) (7市町村参加) ◆名古屋会場(中日ビル) ③平成30年1月21日(日) (10市町村参加) ④平成30年2月10日(土) (7市町村参加) ⑤平成30年3月10日(土) (7市町村参加) ◆大阪会場(マイドームおおさか) ⑥平成30年2月24日(土) (8市町村参加)		■セミナー参加者数 ◆東京会場 ①平成29年7月28日(金) (16組19名) ②平成29年9月9日(土) (41組58名) ◆名古屋会場 ③平成30年1月21日(日) (17組25名) ④平成30年2月10日(土) (7組 8名) ⑤平成30年3月10日(土) (8組 9名) ◆大阪会場 ⑥平成30年2月24日(土) (12組15名) 計 101組134名 (H28年度:19組23名) ■セミナー参加経由での実移住者数 4組6名(飯田市、売木村、泰阜村、豊丘村) その他継続相談・問い合わせ多数(集計中) ■その他の効果 南信州地域が一体となってPRを実施したことにより、長野県への移住を希望する相談者の中で、南信州の認知度が高まってきている(ふるさと回帰支援センター相談員からの聞き取り)			◎ 期待以上 ○ 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下	
今後の方向性	○地域一体での移住セミナーの実施により、確実に「南信州」の知名度が向上しており、移住希望者の反応も良くなっていることから、今後も継続的にセミナーを開催し、南信州地域への移住促進に努める。 ○移住セミナーでの相談対応についても、各市町村の個別対応ではなく、南信州一体での独自の対応方式(カフェテリア方式等を検討中)を確立し、圏域全体での移住定住の促進に努める。						